

★神戸の催し物ご案内 8月

△音楽△

★こまどり姉妹

2日(金)6時半 神戸文化ホール 民音/一六〇〇円

★太田裕美

2日(土)6時半 神戸文化ホール A・一八〇〇円 B・一五〇〇円

★松田淳子

5日(水)①2時②6時 神戸国際会館 S・三〇〇〇円 A・二二〇〇円 B・一八〇〇円

★チューリップ

6日(金)6時半 神戸国際会館 S・二〇〇〇円 A・一五〇〇円 B・一〇〇〇円

★岩崎宏美

7日(土)①3時②6時 神戸国際会館 S・二〇〇〇円 A・一五〇〇円 B・一〇〇〇円

★ハンガリー少年少女合唱団

7日(土)2時 西宮市民会館 S・三〇〇〇円 A・一九〇〇円 B・一五〇〇円 中学生以下・一〇〇〇円

★ウィーンの歌・ワルツ……乾杯ノ



指揮/樺村芳一

11日(水)6時半 神戸国際会館 A・三〇〇〇円 B・二五〇〇円

指揮/樺村芳一 演奏/大フィル

★メッツ

14日(土)①12時②3時半 神戸文化ホール A・一八〇〇円 B・一五〇〇円

★田中聖児

14日(土)①3時③6時 オリエントホテル 二五〇〇円

★土曜コンサート

ピアノとフルート・ジョイントコンサート
14日(土)6時半 泉民小劇場

ハ〇〇円

★ベラボーチエ

20日(金)6時半 泉民小劇場 五〇〇円
★ずうとるひ
21日(土)①2時②5時 神戸国際会館 A・二五〇〇円 B・二二〇〇円

★長門裕之・南田洋子のミュージック・フェア

21日(土)6時半 南田洋子のミュージック・フェア



長門裕之

南田洋子



尾崎紀世彦

23日(日)6時半 神戸国際会館

ゲスト/尾崎紀世彦・今陽子・猪俣

★ヴィクトリア少年合唱団

24日(水)6時半 神戸国際会館 S・三〇〇〇円 A・二五〇〇円 B・二〇〇〇円

★安川加寿子ピアノ公開レッスン

26日(木)1時 神戸文化ホール 九五〇円

★市門真人とウルトラマン兄弟

27日(金)3時半 神戸文化ホール 二〇〇〇円・九〇〇円

★市民コンサート

28日(土)6時 神戸文化ホール 無料

△演劇△

★ぬいぐるみ人形劇「ねむり姫」

2日(月)1時半 3日(火)①10時半②1時半 A・一八〇〇円 B・一五〇〇円
★文学座「開花草紙面信お玉」
18日(水)19(木)20(金)21(土)23日(月)6時15分



三津田健

三津田健

22日(日)1時半 神戸文化ホール 神戸労演/一六〇〇円
作/大西信行 演出/我井市郎
出演/杉村春子・三津田健・大出俊ほか

△その他△

★18回神戸夏季大学

4日(水)6時(金)
11日(水)13日(金)6時20分 神戸文化ホール 三〇〇円

★松竹大歌舞伎

8日(日)①12時②5時 神戸国際会館 S・三〇〇〇円 A・二〇〇〇円 B・一〇〇〇円

出演/松本幸四郎・中村雀右衛門

中村吉右衛門・河原崎柳十郎ほか

★チャリティ映画会

「日曜日の朝がやってくる」
14日(土)①10時半②1時③6時 神戸文化ホール 三〇〇円

★市民映画劇場「ピルマの警署」

18日(水)20日(金)6時半 神戸文化ホール 四五〇円

★東西落語名人選

27日(金)6時 28日(土)①1時②6時 神戸文化ホール 一階・二五〇〇円 二階・二〇〇〇円

出演/三遊亭圓生・桂米朝・笑福亭松鶴・古今亭志ん朝ほか

★露乃五郎独演会

29日(日)6時 神戸文化ホール 民音/八〇〇円



露乃五郎

●愛読者優待席

神戸っ子読者に左記のステージを割引優待致します。

★ロス・インディオス・タバラス



9月10日(金)6時半 神戸国際会館

S・二八〇〇円 A・二四〇〇円 B・二〇〇〇円 C・一五〇〇円をそれぞれ一割引。

★オリジナルレタボルテショウ

76秋・冬バリモードコレクション
9月18日(土)2時 神戸国際会館 S・五〇〇〇円 A・三〇〇〇円 B・二〇〇〇円をそれぞれ一割引。

★ロバータ・フラック



9月20日(月)6時45分 神戸文化ホール

S・三八〇〇円 A・三〇〇〇円 B・二五〇〇円をそれぞれ三〇〇円引。

★必殺仕置人―三途の川の風車

10月2日(土)4時 神戸国際会館 出演/藤田まこと 宮戸鏡、菅井きん 芦屋小雁 弓恵子ほか

S・二八〇〇円 A・二三〇〇円 B・一八〇〇円をそれぞれ一〇〇円引。

ご希望の方は電話かガキで神戸っ子編集室・優待係ハ川崎Vまで

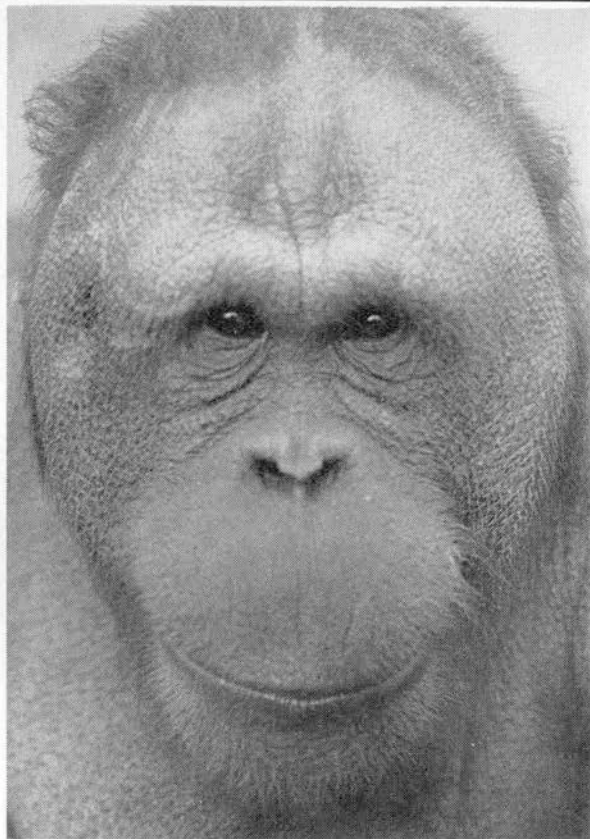
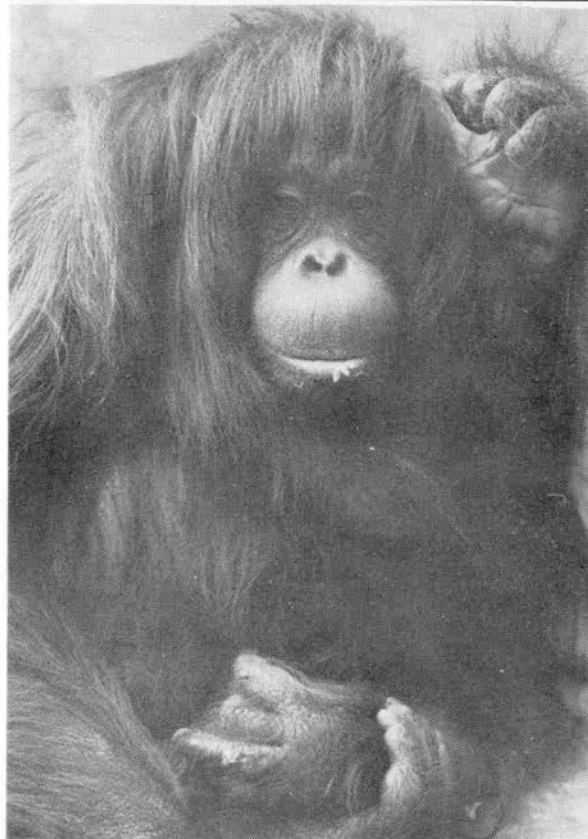


動物園飼育日記 -121- 亀井一成

ないしょ話シリーズ〈44〉



荒縄とオランウータン



近頃、動物たちに欠かせない稲わらが不足し、たいへんな高騰を見ている。

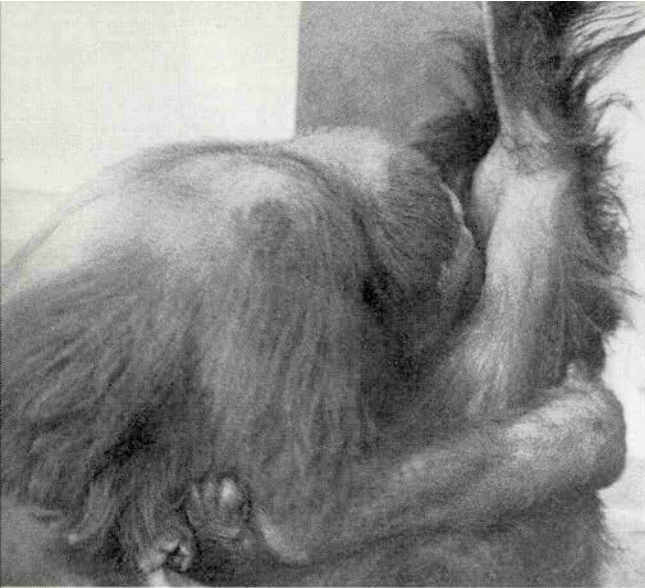
稲作の減少や、機械化農業から年中稲わらを保存し納品して下ざる業者がほとんどなくなってしまうことも一因だろうが、なんといっても石油化学の発達で、こんなところにもしわ寄せを示し、いまだき稲わらで出来た本物の“縄”で荷造りされた野菜やリンゴ箱などにおめにかかろうにも無理である。たいていがダンボール箱や発泡スチロール箱にビニールヒモでくぐられ入荷する。

ところで、つい最近その本物の松材で本物の“荒縄”で荷造りされた“あのリンゴ箱”が入荷した日、私はほんとにうれしい思いがしました。

いや、実はその本物の“荒縄”で私のせがれ達にちよつとした知恵試験をやつて見たかったからであつた。

(ビニールヒモは強すぎ、何かと危険が予想される)

長さ二米少々その荒縄の一本づつをチンパンジーとオランウータンたちに、遊びの道具にと運動場に入れてや



私たちはこうして結ばれました

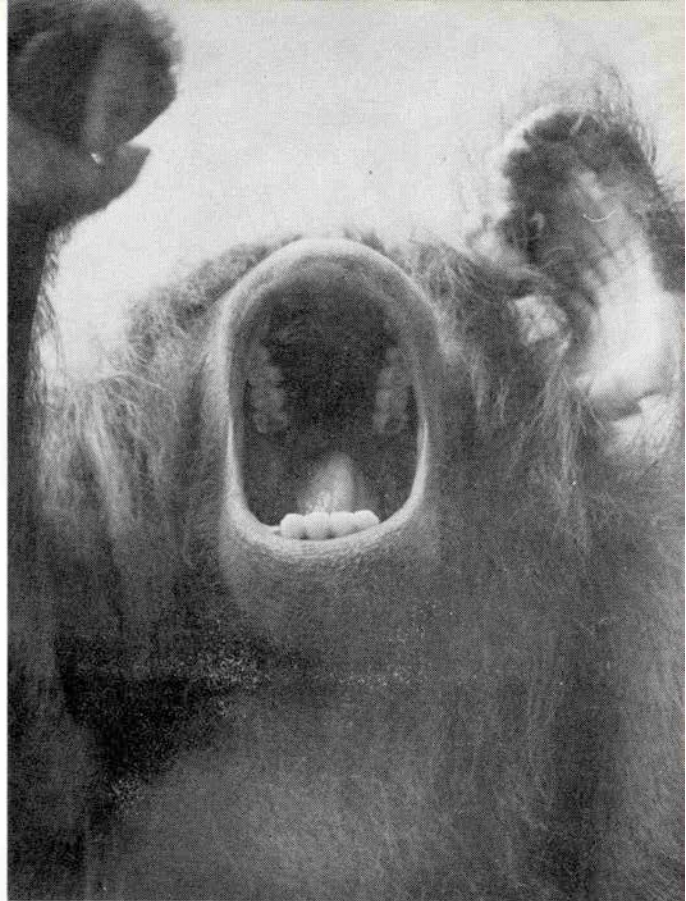
つたらどうだろう。これまでに幾度か与えていたこともあつて、たちまち、たぐり寄せたと思うと、小わきにかかえ持ち去ってしまったのである。

サーカスの調教師よろしく、荒縄をふりまわし、それで仲間をおどし回りはじめたのはチンパンジー一家のオス。すきを見て手にしたメスは頭から体にくるくる巻きつけるかと思えば地上に丸く縄をおき、その上に仰向きになって寝ころんでは笑いはじめた。つまり荒縄をほぐさず、そのまま巣材に使っているのである。

そのさなか、学童の遠足がやってきましたら、とたんに、あいきようをふりまき物ねだりをはじめた。しかもその時、手のとどかないと判った彼等は何んと、その荒縄を檻の外にけんめいに出しては、とどかないキヤラメルを縄の先で引き寄せようと息を殺しての後姿であつた。さらに彼等の遊びには新しい物を手にしたという喜びを他の者へ誇示する行動がのぞかれ思わすぢきだしてしまつた。握りしめた縄を、まるで投げ捨てる格好を見せ、その縄にさそわれた他の者が手を出したらどうだろう。相手に取られまいとまたぞろ、その縄をこわきに逃げ回る。

次には鉄格子越し、オランウータン側へ、その縄を差し出し相手が手にしようとした瞬間、さつと引き寄せるふと見てると逆にオランウータン側からも、ダラリ荒縄が差し出されていた。

さつと手早く引き寄せた。両者がそれこそ必死に“つな引き”をやらかし、体量100kgのオランウータン君対70kgのチンパン君。力闘の末、ばちんと切れた荒縄。両者はどすーん。いやはや、ほんとに我々そのまま尻もちをついていました。ところで、こうして、お隣りさんへのいたづらをするのは、図体のかいゝるだけかと思えば、何のことはない。かえってメスの方が、その才能ぶりを発揮。口にくわえ何やら格子にとおしはじめたメスは、縄の一方を格子にゆわえつけ、ぶら下ったと思うと、そのはしを、またまた隣のチンパンジーに差し入れ相手をさそい



吠えたるネネ

はじめたのである。

その真剣なまなざしとくろりと器用に巻きつける手先さりとてチンパンジー一家の♀の知恵者ぶりも負けていない。差し入れてきたはじめは、まるで知らん顔、何の反応も示さない。反対方向で遊んでいると見せかけていながら、すきあらば、ひたたくてやろうと狙っている。あのわざとらしい横顔に相手に向けた聞き耳ぶり。ボクにはチンパンジーの作戦が手に取るように判った。ところで、動きの早いチンパンジーに対し、スローなおラン君たち。どちらにも分があり、別に勝負を記そうというのではない。

その夕暮時、ボクはその光景を見てうれしくてたまりませんでした。あのいたずらしていたおラン夫婦。もうチンパンジーなんか相手にしよったらあかん！。ひきちぎれた、二本の荒縄を、それこそたんねんに、わら一本一本にほぐし続け、そのやわらかいわらを果材に引きつ

め、寝床作りにけんめいだったのである。

オス、ジュン、満11才。(人間では24〜25才) メス、ネネ、7才(人間では14〜15才)の二頭は、こうした荒縄合戦ののち、互いの気心が結ばれ、それこそ、ひとときも女房の側を離れようとしないうスジュンとの生活がはじまったのである。

チンパンジーの7.5カ月に対し、オランウータンの懐妊期間は8カ月と少々長い。メスネネ、交尾のあとオスを猛烈に嫌いだしたこと。はがゆくなったオスのジュンが少々咬みついたことも悪い。さらにまた、チンパンジーと異り家族群を作らないオランウータンのこと、発情交尾のあとは別居生活する野生同様、しばらく分居させ、メスネネの生理変化をいま仔細にみている。ひよつとしたら、いや今年はだめであらうとも、来春には、きっと二世の誕生があるにちがいない。ボクはそう確信しているのである。

(王子動物園学芸員/写真)

世界の福祉施設

—— 欧米の心身障害者を訪ねて ——

橋本 明著 <カラー8ページ、本文320ページ、定価 1,000円>
 <社団法人家庭養護促進協会事務局長> 送料 200円



●福祉時代の幕開けです。あなたも一冊ぜひどうぞ！

主な内容

- 神戸からシアトルへ
- クライシス・クリニックス
- グッドウィル・インダストリーズ
- 里親発見活動
- フォースター・グランドペアレント
- フォースター・アベニュー・サービスセンター
- ボランティア・ビューロー
- 病院におけるボランティア活動
- レニア・スクール
- アメリカのグループホーム
- 社会福祉とPR活動
- 砂漠の中の老人の町
- ボーイズ・タウン
- パーキンス盲学校
- スポック博士の子供博物館
- アビリティーズ
- ロンドンのバーナードホーム
- 奇蹟の町・ルルドを訪ねて
- コベンハーゲン老人の町
- ベーテル——西ドイツの障害者の町(ドイツ)
- ヘット・ドルプ——未来を拓くオランダのコロニー(オランダ)

各書店で好評発売中！

振替口座 神戸四五一九六

お申込みは月刊「神戸っ子」編集部まで。神戸市生田区東町113の1 大神ビル7F TEL(331)2246

さざんか療護園

重度身体障害者の療護施設

「さざんか療護園」という重度身体障害者の療護施設が神戸市垂水区玉津町にオープンし、七月から入所が始まった。療護施設というのは、身体が不自由なために自分の力だけでは日常生活ができず、家庭でも介護をすることの難しい重度の身体障害者を収容して治療や訓練をする施設である。

総工費六億円をかけて建てられた近代的な鉄筋コンクリート造りの建物はなかなか立派なもので、神戸の福祉施設の中では目玉商品としての群を抜いた設備をもっている。たとえば入浴には一台四百万円もするスウェーデン製の浴槽が三台備えられており、職員がいちいち身体を抱いて持ちあげなくても、ストレッチャーから機械で自動的に浴槽へ移され、あるいは腰かけたまま浴槽へ入れるようになっており、職員は腰痛の苦痛から解放される。

トイレは手足の不自由な人たちが使用しやすいように



座ったまま入浴できます

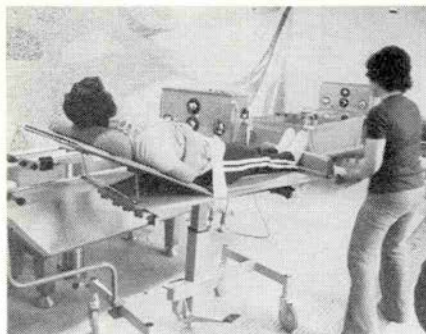
なっているのは当然だが、用便後、手を使わなくても蒸気の後始末ができる設備もある。

居室は一部屋四人づつで、各ベッドはボタンのスイッチ一つで自由自在に高さや傾斜が調整できる。一台五〇万円もするそうだが、このデラックスベッドが全部で五〇床ある。各ベッドの横にはラジオも備えつけられている。また、施設外の家族や友人との連絡を緊密に保てるようにとの配慮から一人に一台づつベッドの横に電話も備えられている。この他に集会室、会議室、訓練室、医務室、霊安室、食堂、さらに書棚が回転する珍しい阪本勝文庫などが用意されている。

こういう重度身体障害者の療護施設というのは今までに全国で43カ所あり、このさざんか療護園は44番目。ほとんどが民間で公立は二つだけである。

入所者は身体障害者の一級ないし二級所持者で低所得であり、年齢は18才から65才まで。精神薄弱はいいが、精神病的疾患や聴覚、視覚などの重複障害はダメというように入所の条件はかなり厳しい。

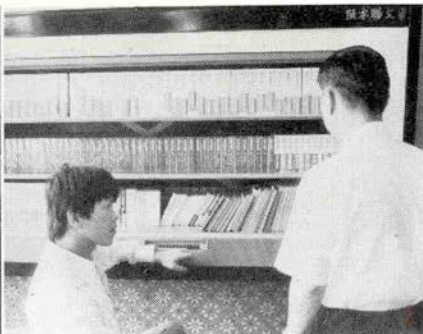
現在神戸市内には約二五〇人の寝たきりの重度障害者があり、緊急に収容しないと家庭が破壊されてしまうケースが八〇もある。この中から緊急度の高い人をまず50人選び、収容して看護するわけだが、いずれも障害が重く、家庭では介護できないケースであるだけに、一度入所すると退所して家庭復帰や社会復帰するのは容易なことではない。どのケースもかなり長期の看護が必要で、



ストレッチャーから自動的に浴槽へ



1台50万円もする調整自在のベッド



回転する阪本勝文庫

限らず、実に日本

は重度の障害者がいながら彼らの心の問題を扱う専門家がいないという

ことはこの施設に限らず、実に日本

は重度の障害者がいながら彼らの心の問題を扱う専門家がいないという

は重度の障害者がいながら彼らの心の問題を扱う専門家がいないという

は重度の障害者がいながら彼らの心の問題を扱う専門家がいないという

は重度の障害者がいながら彼らの心の問題を扱う専門家がいないという

は重度の障害者がいながら彼らの心の問題を扱う専門家がいないという

は重度の障害者がいながら彼らの心の問題を扱う専門家がいないという

的な現象でもある。社会復帰のほとんど不可能な人たちが、死に直面する人たちにとっては衣食住の保障以上にこれからの自分の人生の行方や死の問題などが大きな関心事であり、恐怖でもあろう。霊安室にたどりつくまでに一人一人の心の苦悩を解きほぐし、魂を支えていく役割をになう専門家がいないのはどういうわけだろう。欧米のキリスト教諸国の病院や施設などをみてまわるとかならずチャペルがあり、牧師が相談にのっている場合が多いし、専任のカウンセラーが患者の悩みに答えるべく努力をしている。今日の日本のような宗教不在の国では牧師に代る精神科医なりカウンセラーを嘱託としてでもぜひ配置してもらいたい。「仏つくつて魂入れず」の現状のままではすまされない、実に重大な事が見落されているような気がする。

次に、看護されている人の人間としての誇りや尊厳をどこまで尊重し、守り通せるかという問題がある。看護されている人はみな重度の障害者であるだけに、何をするにしても他人の手を借りなければ生きていけない人たちが多い。入浴や排泄を含め、すべての生活の面で個人のプライバシーをさらけ出さねばならず、ともすれば職員の命ずるがままに従わざるをえなくなり、人間としての基本的人権が十分に守られなかったり、誇りを傷つけられたりすることがあるかもしれない。福祉施設というのは強者が弱者を管理する場であってはならないが、気がつかないうちにそうなる危険性が潜んでいる。

一九七五年度にアカデミー賞五部門を受賞したアメリカ映画「カッコーの巣の上で」はまさにそういう問題を提示した傑作である。

重症者の施設というのは運営にもずいぶん費用がかかるが、ギリギリの状況まで追い込まれた人間を社会のどこかで受けとめる場所があるということは、何となく市民に多少とも安心感を与える。立派な設備と恵まれた自然の環境をフルに生かして、入所者が日々喜びを感じられるような運営をしてほしいものである。

重症者の施設というのは運営にもずいぶん費用がかかるが、ギリギリの状況まで追い込まれた人間を社会のどこかで受けとめる場所があるということは、何となく市民に多少とも安心感を与える。立派な設備と恵まれた自然の環境をフルに生かして、入所者が日々喜びを感じられるような運営をしてほしいものである。

重症者の施設というのは運営にもずいぶん費用がかかるが、ギリギリの状況まで追い込まれた人間を社会のどこかで受けとめる場所があるということは、何となく市民に多少とも安心感を与える。立派な設備と恵まれた自然の環境をフルに生かして、入所者が日々喜びを感じられるような運営をしてほしいものである。

重症者の施設というのは運営にもずいぶん費用がかかるが、ギリギリの状況まで追い込まれた人間を社会のどこかで受けとめる場所があるということは、何となく市民に多少とも安心感を与える。立派な設備と恵まれた自然の環境をフルに生かして、入所者が日々喜びを感じられるような運営をしてほしいものである。

重症者の施設というのは運営にもずいぶん費用がかかるが、ギリギリの状況まで追い込まれた人間を社会のどこかで受けとめる場所があるということは、何となく市民に多少とも安心感を与える。立派な設備と恵まれた自然の環境をフルに生かして、入所者が日々喜びを感じられるような運営をしてほしいものである。

重症者の施設というのは運営にもずいぶん費用がかかるが、ギリギリの状況まで追い込まれた人間を社会のどこかで受けとめる場所があるということは、何となく市民に多少とも安心感を与える。立派な設備と恵まれた自然の環境をフルに生かして、入所者が日々喜びを感じられるような運営をしてほしいものである。



FASHION REPORT II

私の気まぐれ日記より

篠原 順子

子供服デザイナー

仕事仲間が集まって（この場合女ばかり）のお昼どきコーヒイを飲んでいる。はなしはオシヤレと「何か面白いことない？」てな話題、きまって出るのが、「髪の手どうしようかしらん」「カットの上手な店知らん？」「それ、ブチに染めて、ワザと？」「ワザとワザと、この良さ判る？」「ポスターカラーがついてんと違うわネ……」「それからあの人の（男の人）パーマ当てて後、洗いはなしだな、ツヤ消しでカッコーの巣だもんネ」「ケケ……」「私、前髪切り過ぎたあ……」「ホント、オッチョコチョイみたい、眉、隠した方が神秘的どすエ……」「私、この夏、雰囲気変えるワサ」「変えるって、顔を？、ああ、髪ネ……」髪は女の命というけど、やはり関心あるのです。切ったり、縮らしたり、蒸したり、染めたり、忙がしいことです。その度、少しは、美しく変身していると信じているのです。



「耳、穴あけようかしら」「エエッ……」「あれどうするの？」「耳をネ、ドライアイスの台の上に置いてネ、少し凍らして、冷いたナと思ってる間に、カチンノとキツプ切りみたいなので、ヤツチヤウンすヨ、そして出血するから、そうね、一カ月程、ドライアイスを、その穴につめとくですわ……」「ウソオ……」「うそ、うそ、何秒とかからないらしいし、痛くも何ともないらしいわ」。

夏の日、小麦色に焼けた肌に、金色の細い細いイヤリングや、ピアス、可愛いチョココンとした、ボブヘアにすごく良く似合う。前髪は、目の上でバツチリカットして、目にポイントを置く。ホホは、やや、チョココレイト色に、口唇はベイジュか、真赤、ドレスはりんどうのブルーか、オフホワイトのTシャツ、リーバイスのジーンズは細くストレイト、バッグは、ヨコ長、だぼっとした感じ。さっさと風を切って歩く、さらっとしていて、何気なく、通りすがりに、グリーンな香りがさわやか、そんな女が神戸には多いですヨ。ところが、店に並んでいる服がゴテツとしていて、もっとシンプルで着こなしひとつで雰囲気の変るような服は無いかしら？

場所に応じて、時によって、アクセサリー一つで、ガラリとムードの変る服、生き方や、生きざま、生活というのが先づあって、服とはその人の表現の小道具にすぎない。多すぎる情報と目まぐるしく変わるファッションの中で、もう、価値観をその人の生き方の上に、見出すことに、スポットを当てる時代だ。その生き方に合ったファッションをこなし、いわゆる板についている人は美しい。



ジャパン・ファッション・イン・オーサカ大阪婦人子供乳児服工業組合／大阪婦人服地卸商連盟が“ファッションを世界でむすぶセンイの大阪”と、ロイヤルホテルで、7月6日、7日の2日間開かれ、LCBとOFKが作品展示を行い、ショーは、総合プロデューサー村上ひろし、コーディネーター・コシノヒロコ、演出構成・藤本晴美のスタッフで『いま“デ・コントラクテ”(きやすさ、着やすさ、気やすさ)』をテーマに展開。第1部はLCBの作品を、第2部はマダム／花井コレクションを、第3部はコシノヒロコがOFKの生地を使用したコレクションを、エンタテナーの穴戸鏡をたくみな狂言廻りで面白くみせた。

コシノヒロコが、中心になったプロジェクトの統一性によるテーマのみせ方に工夫をこらし大阪のカラーもでて成功している。

8月のマンスリーサロン

一般聴講歓迎 <今回は500円>

8月11日<水>

午後6時30分より 県民会館1201号

「アメリカ建国 200 年と
ファッション」

松浦房子 <K. F. S 会員>

神戸大丸ファッション

コーディネーター

「神戸の夜／男の群れ」

神戸ジュニア会の皆さんによるフォー
マルウェアの紹介とお話

お話／田中謙司

<紳士服デザイナー K. F. S 会員>

●ユニークな

アートサロン “かぶとれしす”

第1回のアートサロン “かぶとれしす” <神戸楽友協会主催>の集いが、7月22日夜、六甲学生センターで開かれた。K.F.S 会員の浦野敏彦さんがファッションを、現代美術の村上三郎、島本昭三、ピアノの酒井忠政チェロの北村竜さんに、コーディネーターは山越直弘さんで、それぞれの分野からの興味深いパネルディスカッション。今後が楽しみ。

★K. F. S. メンバーによる P. R.

室内を演出する
神戸装飾 株式会社

神戸市生田区中山手通 2 丁目 64 / 4
三宮販売部 Phone (331) 0557

神戸もとまち

大丸

Phone 神戸 (078) 331-8121

ミセスのための婦人服

Vert ヴェール

伸和スタイル株式会社

神戸市灘区生田町 3 丁目 17
Phone (241) 8691

チョコレート

モロゾフ 株式会社

神戸市東灘区御影中町 6 丁目 11 番 19 号
Phone (851) 1594

コウベセンスで創る婦人靴
株式会社

TUKASA ツカサ

神戸市長田区細田町 5 丁目 2 / 28
神戸化学センター 5 F Phone (691) 7739

株式会社 阿曽理容店

神戸営業所 神戸市灘区浜辺通 5 / 2 / 1
神戸商工貿易センタービル 11 F
Phone (251) 3010

株式会社 理容アソ

大阪市北区小松原 27 富国生命ビル 1 F
Phone (331) 2214

オートクチュール

マーガレット

藤本ハルミ
神戸市生田区三宮町 1 丁目 29
Phone (391) 1134

オートクチュール

アトリエ・ヨシコ

中島嘉子
トアロード・クロスビル Phone (321) 2268

★神戸ファッション市民大学OBによるグループ
 <神戸のファッション都市化をめざす>

K.F.S. news 11

事務局／神戸市生田区元町通2丁目37村田ビル
 デザインルームナカハラ内 TEL 391-4768

K.F.S総会で

新役員決まり ハッスル!

★'76ファッションフェアに も参加予定のK.F.S

K.F.Sの総会が、7月21日明治生命ビル地下の“カーリーナ”でパーティスタイルによって開かれた。

1期生から3期生まで会員は86名。

毎月の講師を招いてのマンスリーサロンには、細川董、田中国夫、山川勝彦、コシノヒロコ、増田光吉、若林輝雄、三浦保、華房良輔、望月美佐先生らを迎えてのバラエティにとんだファッションのお話と、会員の藤本ハルミ、松宮隆男、浦野敏彦さんらの現場からの声など、月に一度の定例会は会員の交流と情報交換もかねて活発に開かれた。

今後もユニークな講師を招いての公開講座も考えられるが、何よりも、会員の参加と、一般の人々の聴講を更にさそうようにと呼びかけた。

一般向きに開かれた女性のためのファッション市民講座も好評。

また、クリスマスパーティ（ファッションショーもそえたもの）や、郷土

シリーズの西脇の織元を訪ねた企画などそれぞれの趣きをもって開いたことは、K.F.Sがファッションリーダーとしてのグループ行動の充実をはかるものとして一歩一歩着実なあゆみをみせている。

今秋のファッションフェアとウィークへは、K.F.Sの可能性を持ったひろがりのあるポリシーを考えて何らかの形で参加することが必要と決定。

K.F.Sは、ファッションとしても、衣服～家具、洋菓子など範囲の広い会員が多いので、その特色をフルに發揮することが考えられ、神戸らしいファッション都市づくりへ地道な行動を続けることを話しあった。

★新役員の紹介

中原武志さんが満場一致で再びK.F.S会長に

会長 中原 武志 <デザインルームナカハラ>
 副会長 柿本雅司 <シンワスタイル>
 “ 阿曾 吉生 <阿曾理容室>
 会計 米田 博司 <市立総合福祉センター>

松下みどり <フリー>
 書記 崔 雅 琴 <鴻信洋服店>
 限
 理事 松宮 隆男 <モロゾフ製菓KK>
 小泉美喜子 <月刊神戸っ子>
 沖田 年永 <沖田商店>
 久利 計一 <メガネの大学堂>
 清水 泰夫 <バリーシューズ>
 大内 信行 <マルダイKK>
 藤本ハルミ <クチュールマーガレット>
 市野木江充子 <市野木ニッティングスタジオ>
 田中 謙司 <紳士服デザイナー>
 中島 正義 <中島洋服店、FIMTデザイナー>

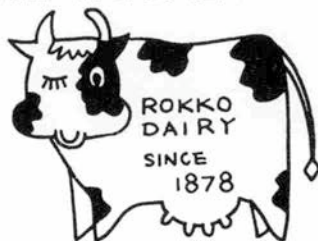
●'76秋冬パリコレ 開催される

ディオール、ウングロ、ランバン、ニナ・リッチ、ジバンシーなどパリの有名オートクチュールデザイナーによる作品合同発表会として“'76秋冬パリプレタポルテコレクション”が9月18日（土）、午後2時、6時半の2回に亘って開催される。岡田真澄の司会でヘアとメイクはシバヤマ、演出マスカンはフランスよりという豪華なショーで、この秋から冬へかけての新しいファッションの数々が女性を魅了するだろう。S席5,000円・A席3,000円・B席2,000円。市内主要プレイガイドおよび「神戸っ子」にて発売中。

フレッシュな味。

神戸生れの六甲牧場

★喫茶店・洋菓子店に！



牛乳
生クリーム
ケーキ用クリーム
コーヒー用クリーム
各種アイスクリーム
ソフトミックス

株式会社
六甲牧場

神戸市灘区篠原南町 6丁目1-25 〒657 (078)801-6000

★ご用命しだい営業マンが直ちにお伺いします。

潜り戸を通して
“花”のおふくろさんの味を



●今月のおこんだて●

花そうめん 400円
たかのり弁当 900円
木の芽あえ 450円



和風季節料理



11:30AM~8:00PM 月曜日定休
さんプラザ地階 ☎ 331-0087

★神戸の集いから

朝比奈隆氏の芸術院賞
受賞をお祝いする会
朝比奈隆氏（指揮者）が
芸術院賞を受賞されそのお



喜びの表情で挨拶する朝比奈隆氏



朝比奈隆氏を囲んでなごやかな会場風景

祝いの会が、六月二十八日（月）午後六時より生田神社会館四階ホールで開催された。

この集いは神戸在住の音楽関係者が多く、小橋深（大阪音大教授）市来崎のり子（大阪教育大教授）横井和子（大阪教育大教授）徳末悦子（相愛女子大教授）さん等が、勿論、竹中郁、小倉敬二、十河巖さんなど地元文化人もお祝いに駆けつけた。出席した小石忠男（音楽評論家）は「大阪フィルハーモニー交響団、関西歌劇団を創立し育成した功績は計り知れないほど大きい。戦後30年間のご努力は関西の音楽文化の原動力になっている。朝比奈隆氏によって関西の音楽文化が日本の水準を保ち得たともいえる。そのご苦労は大変なものだったでしょう。洋楽の分野で日本的な評価を得られたこと30年に亘るお仕事に対する評価と思えばこの受賞の意義は更に深く偉大だと思う」と話されていた。

★重やんの「太陽の墓場」をサカナに飲むぞ楽しき
本誌の連載小説「まだ遅くない」が、ベストブック社より「太陽の墓場」と題名を変えてこのほど発刊さ

＜右＞重やんを中心に賑やかな連中が集まった
＜左＞内藤九段、たかしもうさんらとお祝いの乾杯



イが、七月十七日午後六時より、生田神社会館4Fホールで、先輩、友人約100人が集って賑やかに開かれた。

ラジオドラマに仕立てた「太陽の墓場」のミニ紹介版では朗読をラジ関の三浦絃朗さんが、石津支局長に画家の中西勝さんが出演するなど趣好をこらしてあり、スピーチは足立巻一、林田重五郎氏、乾杯は佐野神戸市助役と続いた。

TV部長刑事の脚本家でもあった重森氏に「87分署」のような作品を書いてほしいとの要望もあった。内藤国雄九段の「おゆき」に合わせて花柳芳恵一子さん、「祝杯」を花柳吉叟さんが踊るなど、紅白歌合戦出場をめざす内藤九段は唄声ものびやか。答えて重森夫妻が仲良く「銀座の恋の物語」で応戦するなど、なごやかな集い。

たかしもう、春木二夫、泉道夫さんらの唄や、マカインブツサルメンバーの「太陽のお化け」など生田の森は重やんをサカナに丹波の小鼓をのむなど風流なものでありました。

他に、長嶋隆、織田正吉、石阪春生、森本泰好、中西美代子、藤本ハルミさんら多士済々。

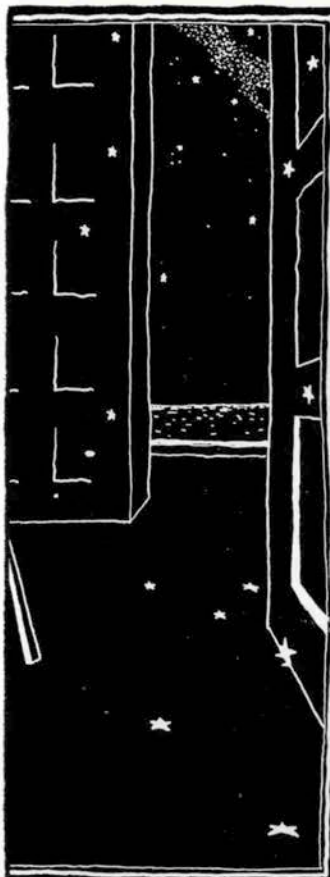
本絵の二頁 あるプラネタリウムの話

岡田 淳 立絵

明石のプラネタリウム
が二代目だつてこと、知っ
てましたか？これは、初代
のプラネタリウムの話です。
めずらしく晴れわたつ
た夜、ひとつの流れ星が、
落ちてきました。皮肉な
ことに、落ちた場所が、
明石のプラネタリウム館
だったのです。建物は、
半分以上、こわれてしま
いました。

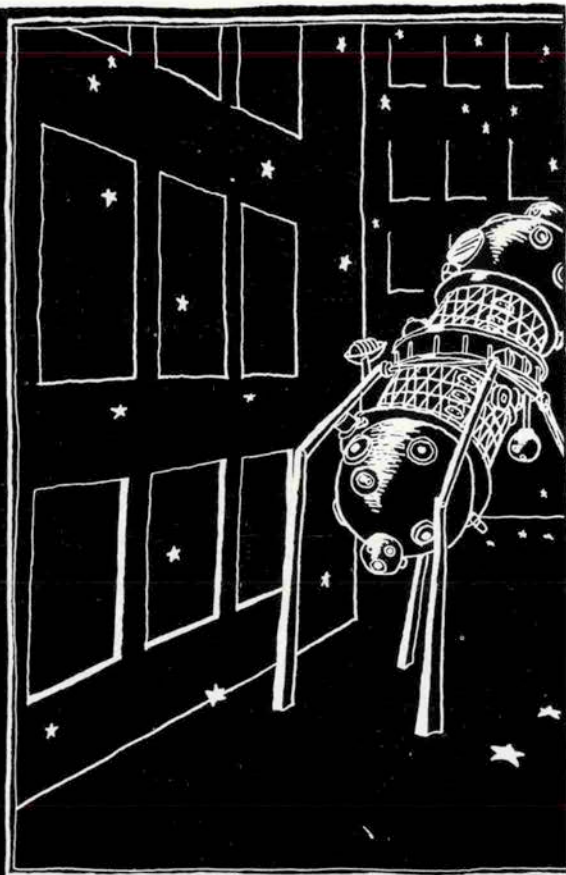


プラネタリウムは、何事がおこつたのかわからないまま、茫然と、こわれた天井
をながめていました。が、ふいに天井の外側の星に気がつきました。
本物の星を見たのは、これがはじめてだったのです。天井の外側の星は、すばら
しく高い、別の天井にうつしだされているようでした。



—— いったい誰
がこんなに大き
な天井に星をう
つしているのだ
ろう。

ぼくはその人



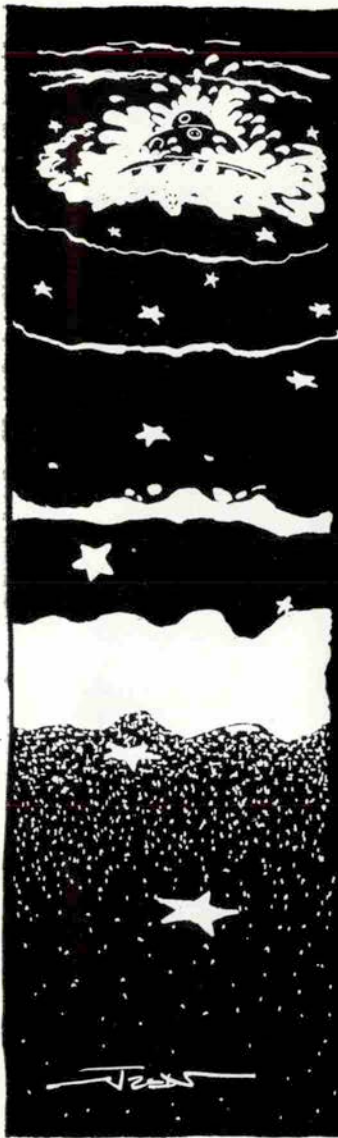
に会わなければ
ならない。

気も動てんし
ていたのでしょ
う。

プラネタリウム
はじっとしてい
られなくなり、
こわれた建物か
ら、夜の街へ、
歩きだしました。

いくら歩いても、星をうつす装置には出会えません。とうとう、浜辺までやっ
てきました。それでも夢中で歩き続けたプラネタリウムは星をまきちらしながら、
海の底に沈んでしまいました。

次の日の朝、明石の浜で、こどもたちは、キラキラ光る、たくさんのおヒトデを
拾いました。



ニューヨーク・ボケ

竹田 洋太郎 え・たかはし もう



筆者

久しぶりで神戸に帰ってきて、神戸の町の裏表をゆっくり見せてもらったら、どうも神戸は私にとって外国の町のように思えてきた。こういう現象を「ニューヨーク・ボケ」とかなんとか、いうんですね。ニューヨークに限らず、外国で生活し、ある程度落ち着いて生活すると多かれ少なかれ、日本へ帰ると、そのままそっくり、馴染めないものがあるようです。

それにしてもおかしい。よく飲みにいったスタンドへいけば、同じ顔触れがならんで、同じ酒を飲んでいるし、少くとも私のいくスタンドの値段は三年前とそう変わっていない。相変わらず、自動車はビカビカに磨きあげられて走っているし、女性は軽やかなジョーゼットのドレスを着て、さっそうと歩いている。もちろん、私の日本語、というより神戸弁はちゃんと通じる。

それなのに、神戸が外国のように感じるのは、なぜであるか。これがいまだによくわからない。

ニューヨーク郊外の生活が、日本と全く異っているからだろうか。そうではない。私の家内にいわせると、香港の方がよほど「外国へ来た」という感じがあって、やってきた当座、ニューヨーク近郊は外国という感じが全然しなかったそうである。空港からアパートに着いて、その夕方、近所のスーパーへ買い物にいった、ケロリとしていたくらいだ。日本のスーパーマーケットは、米国のシステムをそのまま採り入れたのだから、変わるはず

がない。

ヒマにまかせて、寝ころんでテレビを見ていると、刑事コジャック、外科医ギャノン、その他米国でみるテレビ番組と同じのをやっている。違いは日本のは日本語をしゃべっているだけ。ハンパーガー屋さんは、ウエスト・ニューヨークのわが家の近所にあるのと同じ名前の同じ色の看板をかかげている。つまり、日本から米国へいった時は、さほど外国へ来たという感じがしないのに日本へ帰ってきたら、外国みたいという、この奇妙な、フワフワした状態に、いまいるわけです。

ところが、米国と日本のちがいを実感的に表現している、私の違和感のいく分かを言い当てられた気持ちになったのは、例のモハメッド・アリが記者会見で「日本は非常にクリーンだ、日本の女性もクリーンだ」といったことです。通訳の人はもちろん「清潔」と訳していましたが、クリーンの反対語は多分「ダーティ」——不潔——でしょう。それなら米国は不潔なのか、というところは問題がある。このところを考えると、ひよっとしたら私のフワフワした気持ちの原因がつかめるかもしれない。

たしかに、さきいったように、日本の自動車は米国の車に比べて、平均してクリーンです。しかしそれ以上に、日本の乗用車の色彩が一般に白っぽく、あるいは濃い色なのに対して、米国のは原色の車をはじめ、さまざま

まな色がある。だから、日本の駐車場は、非常にツメタイ感じがする。米国の駐車場はオモチャ箱風です。日本の女性の夏の服装は、まっ白というの多いし、大体に白っぽく、色も単純だ。

つまり、日本の町の感じは、病院みたい、というわけだ、アリスさんが「クリーン」といったのは、これを意味したのだな。

さらに、私の感じをつけ加えるならば、日本は「リーン」つまりアブラ身が少ないこと。リーンの反対は「グリーシー」油っこい、油じみていることだが、アメリカ人は普通牛肉が主食みたいなのだから、町におい、建て物のおい、いつも油じみている。日本人がよくいう「バタくさい」のである。道路も手入れのよくない大型車が走りまわるものだから、全体にグリースが染み込

久しぶりの神戸。外国みたい。——これ、ニューヨークボケ



んでいるみたい。

そこで三年もその中で生活していると「油っこさ」が身に染み込んでいて、油気のない、病院みたいな町を歩いていて、かえって一種の不安を感じているのではないだろうか。これが私の結論であります。

しかし日本は変わった。なにが変わったといっても、だれかに付れていってもらうスタンドやバーに、大量のウイスキー瓶が置いてあること。もちろん、私だってニューヨークの日本人経営のバーに、カテゴリー・サークかJ&Bの瓶は置いてある。置き瓶というのは、別に珍らしくもないわけだが、しかしその数量には圧倒されましたね。あちこち、多くの店にキープ・パトルするというのはどういう気持なのだろうか。ここはオレの縄張りのうち、というわけで、犬が電柱に小便をかけておくようなものだろうか。

もう一つ。テレビを見ていたら、日本で作られ、日本で消費される品物なのにどうしてアメリカでとったコマースィヤルがやたらに出てくるのだろうか。こういったら私の友人が「ほんまにあればオカシイ」と共感していた。これに対するタケダ式解釈は、たまたま米国も建国二百周年だし、これにかこつけて、アメリカでコマースィヤル・フィルムをとってくるといえば、大義名分が立つから、この際予算をとって、ともかくアメリカへいこうというプロデュースやカメラマンが、多勢いたというだけの話。つまり便乗出張ですな。まあそれでも、二百年祭のアメリカへいなくて、毎日アメリカの風景だけは楽しめるのは結構なことです。

日本の政局も、アメリカのどこかでどうかねば、大きく動くというケツタイな時代です。

だが、三年間この記事をよく読んで下さいました。心から読者のみなさまにお礼を申し上げて、サヨナラ、サヨナラ——ではなかった。バイ・バイとさせていただきます。